

政策評価調書（個別票①-1）

【政策ごとの予算額等】

政策名	男女共同参画社会の形成の促進		評価方式	総合(実績)事業	番号	12
歳出予算額（千円）	19年度	20年度	21年度	22年度要求額		
（ 当 初 ）	370,377	362,247	336,665	363,405		
（ 補 正 後 ）	370,377	357,182	349,879			
前年度繰越額（千円）						
予備費使用額（千円）						
流用等増△減額（千円）						
歳出予算現額（千円）	370,377 <0>	357,182 <0>				
支出済歳出額（千円）	251,789 <0>	236,706 <0>				
翌年度繰越額（千円）						
不用額（千円）	118,588 <0>	120,476 <0>				
達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	<p>【達成目標】 女性も男性もすべての個人が、喜びや責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる「男女共同参画社会」の形成を促進する。</p> <p>【目標の達成度合いの測定方法】 個別票②に記載。</p>					
政策評価結果を受けて 改善すべき点	<p>男女共同参画社会の実現のためには、国民各界・各層の幅広い理解を得ることが重要である。このため、男女共同参画に関する普及・啓発活動については、若年層や男性の参画が少ないことから、その参画を促進するような取組を行う必要がある。</p> <p>また、女性に対する暴力の根絶に向けた取組においても、一層効果的な広報・啓発活動を行う必要がある。</p> <p>地方公共団体や民間団体、国際機関等との連携を一層強化しつつ、幅広い層を取り込む形で男女共同参画の推進に取り組んでいきたい。</p>					
評価結果の予算要求等 への反映状況	<p>政策評価書作成の過程で無駄削減に資する検討を行い、引き続き一般競争入札の実施や事業の執行状況を踏まえた各種印刷物の部数の削減等を図るなど、今後とも一層の予算の効率的な執行に努めることとした。</p>					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理、棚卸し調書との照合】

政策名		男女共同参画社会の形成の促進				番号	12		(千円)
	予 算 科 目								政策評価結果等 による見直し額
	整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	21年度 当初予算額	22年度 要求額		
対応表に おいて● となっているもの	A	1	一般会計	内閣本府	男女共同参画社会形成促進費	男女共同参画の形成の促進に必要な経費	336,665	363,405	△ 14,109
	A	2							
	A	3							
	A	4							
	小計							336,665 < > の内数	363,405 < > の内数
対応表に おいて◆ となっているもの	B	1							
	B	2							
	B	3							
	B	4							
	小計							< > の内数	< > の内数
対応表に おいて○ となっているもの	C	1					< >	< >	
	C	2					< >	< >	
	C	3					< >	< >	
	C	4					< >	< >	
	小計							の内数	の内数
対応表に おいて◇ となっているもの	D	1					< >	< >	
	D	2					< >	< >	
	D	3					< >	< >	
	D	4					< >	< >	
	小計							の内数	の内数
合計							336,665 の内数	363,405 の内数	△ 14,109

政策評価調書（個別票①-3）

【見直しの内訳・具体的な反映内容】

政策名		男女共同参画社会の形成の促進				番号	12		
事務事業名	整理番号		予算額（千円）			見直し額 (A) (B)+ (C)-重複	うち政策評価結果の反映による見直し額 (B)	うち執行状況の反映による見直し額 (C)	政策評価結果又は執行状況の要求への反映内容
			21年度当初予算額	22年度要求額	増減				
男女共同参画に関する普及・啓発	A	1	58,657	40,268	△ 18,389	△ 11,218		△ 11,218	執行状況を踏まえ、男女共同参画白書作成経費については、部数の見直しによる削減を行った。また、男女共同参画ホームページ整備等経費については、執行額に合わせて、システム維持管理経費、コンテンツ作成経費の削減を行った。
男女共同参画を促進するための地方公共団体・民間団体等との連携	A	1	128,186	97,231	△ 30,955	△ 1,861		△ 1,861	執行状況を踏まえ、男女共同参画フォーラム経費については、謝金の削減、男女共同参画社会づくりに向けての全国会議経費については、ポスター作成・掲載費の削減を行った。
女性に対する暴力の根絶に向けた取組	A	1	76,985	76,637	△ 348	△ 1,009		△ 1,009	執行状況を踏まえ、配偶者からの暴力被害者支援セミナー開催経費については、一般競争入札の実績（平成21年度）に見合った削減を行った。
女性の参画の拡大に向けた取組	A	1	29,708	15,197	△ 14,511	△ 21		△ 21	執行状況を踏まえ、政策・方針決定参画状況調べ作成経費については、部数の見直しによる削減を行った。
合計			293,536	229,333	△ 64,203	△ 14,109		△ 14,109	

		女性に対する暴力に関するポスター等の配布箇所数	箇所	—	—	—	全地方公共団体	全地方公共団体	女性に対する暴力をなくす運動の趣旨（地方公共団体と連携し、国民の意識啓発を行う）を踏まえて設定
		社会のあらゆる分野における指導的地位に女性が占める割合							男女共同参画基本計画（第2次）に掲げた当該項目の目標を設定
		女子高校生に対する理工系への進路選択支援のための啓発事業におけるアンケートの肯定的な評価の割合	%	—	—	—	94.1	50 20年度	平成19年度に当局で実施した事業（女性に対する暴力に関するシンポジウム）の実績値を踏まえて設定
関係する施政方針演説等内閣の重要政策（主なもの）	施政方針演説等		年月日		記載事項（抜粋）				
	第168回国会施政方針演説		平成19年10月1日		女性も男性もすべての個人が、喜びや責任を分かち合い、個性や能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向け、取り組みます。				
	第169回国会施政方針演説		平成20年1月18日		特に女性の参画が進んでいない分野に重点を置いて、女性の働く意欲を引き出すことができるよう、「男女共同参画社会」の実現に向け戦略的に取り組んでまいります。				